

第 49 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と佐々木委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会報告

「第 61 回運営委員会」(8 月 21 日開催)及び「第 62 回運営委員会」(8 月 23 日開催)の協議状況について、松本委員長から説明があった。

3 提言書(案)の内容確認

(1) 提言書(案)の内容確認

下記の提言書(案)について、松本委員長から内容の説明があった。

資料 2-1 武庫川の総合治水と提言の構成(案)

資料 2-2 武庫川の総合治水へむけて 提言書(案)

(2) 提言書(案)の修文及び採択

委員からの意見書及びその他委員からの意見を基に、提言書(案)の修文を別紙のとおり行い、修文したものを提言書とすることが、全員一致で採択された。

(3) 資料の取扱い

資料 2-1 武庫川の総合治水と提言の構成(案)については、内容精査の上、参考資料として、取り扱うことが確認された。

4 提言後の委員会の予定

- ・資料 1-3 に基づき、提言提出後の流域委員会の活動について、委員長から説明があり、田村委員、法西委員から、意見書の説明があった。
- ・流域連携等について、各委員から意見が出され、今後の対応については、運営委員会に一任することとなった。
- ・委員会休会中も、これまでの審議に関するニュースレターを引き続き発行することとなった。

【別 紙】

2 章 最後に「総合治水と提言の構成イメージ」表を追加で添付する。

p.28 表 3-4 数値化しないものを追加する。

以下の注釈を加える。

「13 頁に記載のとおり、流域対策をはじめ、甲武橋基準点での流量低減効果量で整備計画の効果量が基本方針での効果量よりも大きい場合は、中小規模の洪水により効果を発揮する対策のため、1/100 規模などの大きな洪水の場合には大きな施設ほど効果量が大きくなる。」

p.94 21 行目 期待する。の後ろに挿入

「具体的な推進にあたっては、保水地域にモデル地区を定め、川まち交流拠点ともリンクして推進することを提案する。」